

令和 7 年度

事業計画書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 31 日まで

公益財団法人名古屋港湾福利厚生協会

令和7年度 事業計画書

令和7年1月20日、ドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に就任しました。トランプ氏は、グリーンランドの買収やパナマ運河の管理権のアメリカへの移譲など荒唐無稽とも思われる発言を繰り返し、世界中で困惑する状況が生まれています。アメリカへの輸出品に関する関税など、日本に対しても例外ではなく、今後どれだけの影響が生じるか、戦々恐々としています。

日本国内では、近年あらゆる産業で労働者不足が顕在化しています。2024年問題のトラック運転手の長時間労働問題は労働者不足問題へとすり替わり、港湾における労働者不足は、他産業よりも深刻化しており、今後更に加速していくのではないかと心配されています。

貿易面では名古屋港は、背後地域の産業構成を反映し、完成自動車、自動車部品、半導体等製造装置の輸出、液化天然ガス、鉄鉱石など産業及び暮らしを支える原材料の輸入によって底堅く推移し、総取扱貨物量は、1億5700万トンとなり前年より0.5%減少しましたが、23年連続日本一を堅持しました。輸出額から輸入額を差し引いた黒字額も約8兆5000億円と過去最高となりました。デジタル化による港湾運営の効率化や、安全性向上を目指したインフラ整備が行われ、地域経済や国際物流のネットワークにおける名古屋港の重要性はさらに高まっています。

当協会は、名古屋港の港湾労働者に福利厚生を提供するという重要な使命を担っている団体です。令和7年度は、米価等の高騰により食堂料金の価格改定をせざるを得ない状況となりますが、協会の使命を果たすべく限られた財源の中で職員一人一人が創意工夫を凝らし、経費節減、効率化に努めます。関係官庁並びに関係団体、業界各位のご理解とご協力を賜りながら、港湾における労働環境の向上や労働者の就労意欲増進を目指し、より一層のサービスの提供を推進してまいります。

<重点事業>

当協会定款で定める事業を重点事業として、昨年度と同様、次のとおり実施します。

1 港湾労働者の生活の安定に資する事業

市街地から離れた荷役作業場所において、港湾労働者が安心して働くことができるように、必要な食事や物品の提供、休憩所の管理運営等、当協会の根幹事業を実施します。

(1) 港湾労働者福祉センター等の管理運営

- ・名古屋港稲永埠頭港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港金城埠頭港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港流通団地港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港鍋田埠頭港湾労働者福祉センター
- ・ガーデン埠頭福祉センター

(2) 岸壁休憩所の管理運営（13ヶ所）

(3) 港湾労働者用駐車場の管理運営

- ・金城埠頭駐車場
- ・名古屋港福利厚生会館駐車場
- ・神野埠頭駐車場

(4) 港湾労働者用住宅の管理運営

- ・鴨浦住宅

2 港湾労働者の健康維持増進に資する事業

港湾業務は危険な作業が多く、又、市街地から遠く、事故等に迅速に対応出来る施設として、港湾労働者、地域住民の健康管理を推進する事業を実施します。

- (1) 臨港病院の管理運営
- (2) 健康管理センターの管理運営

3 港湾労働者の自己啓発、余暇活動に資する事業

過酷な就労環境下で働く港湾労働者の方々が精神的、肉体的にもリフレッシュする場所、機会を提供し、労働者を側面から支援する事業を実施します。

- (1) 保養施設の管理運営及び利用の斡旋、体育施設の管理運営
 - ・山海荘
 - ・テニスコート
 - ・シーパレス日港福
 - ・プロミネント車山
 - ・ハーベストクラブ浜名湖
- (2) 各種レクリエーション大会の開催運営
 - ・本部 ウォーキング大会、ボウリング大会、文化事業
 - ・衣浦支部 テニス大会、ボウリング大会、いちご狩り大会
 - ・蒲郡支部 潮干狩り大会、ボウリング大会、いちご狩り大会
 - ・豊橋支部 釣り大会、メロン狩り大会、ボウリング大会、みかん狩り大会、いちご狩り大会
- (3) 広報誌の編集・発行（年4回）

4 港湾労働者の労働災害防止に資する事業

関係機関等と協力し、労働災害防止に寄与する事業を実施します。

- (1) 労働災害防止活動
 - ・名古屋港殉職者慰霊祭の斎行
 - ・港湾貨物運送事業労働災害防止協会へ助成事業
- (2) 名古屋港労災補償協議会の運営

5 その他法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 港湾労働者の文化・技能を継承する事業
 - ・名古屋市指定無形民俗文化財名古屋港筏師一本乗り保存会の運営